

かわら版

2018.8月号

北海道キャンプ協会

【巻頭言】

「さあ！子どもと一緒に自然の中へ」

北海道キャンプ協会事務局長 岩崎栄知子

乳幼児と遊ぶようになって早35年。子どもの好奇心と豊かな発想に、ワクワクしながらも、見守り、時にはワナを仕掛けてきました。そんな中で、子どもの底力を目の当たりにする場面がいくつかあります。

やっと歩き始めた0歳児。ある日の公園で歩道に敷き詰められたウッドチップに魅せられた彼女はそこに座り込み、とても長い時間、お尻や脚、手や指先、鼻など全身で感じる『木』を堪能したのでした。（時には大人が見ていないタイミングを見計らって口で！）

ある日の3歳児。なにもない『安全（冒険というスパイスは必需品ですが）』と『遊びを繰りひろげる空間』は確保。そしてなんといつても『一般的によく言われる遊具』はない。場所でも何となく遊び始め、近くにいるメンバーと遊びを創り出しながらも長い時間、大いに楽しみました。

我が青い鳥の5歳児は3泊4日キャンプを経験します。保護者の同行は一切無しです。キャンプは生活そのものです。5歳児で3泊もの長い期間、自分の衣食住を背負って立つのですから大変です。寝るためのテント、ドラム缶風呂に入るため、そして食べるための火起しなどなど、自分のことは自分ですることが掟です。その後の実生活に戻ってから彼らが、どれ位成長しているかは？皆様の想像通りです。いつもは『他の誰かがしてくれて当たり前』だったことを自分でしなければならぬことの大変さ。いつもそばにいる家族がいけないという経験から、家族のありがたみを実感するのですから、『子どもだから』『まだ〇歳だから』という言葉は彼らにとって失礼です。子どもたちの可能性を最大限に引き出す手助けができるのが大人です。そして、その舞台としては、やはり自然が一番！幼稚園や保育園にある滑り台ばかりであるので、急な崖を最初は泣きながらもよじ登り、お尻で滑り降りることができた！という体験をしている子の差は想像を超えるものがあります。

自然は、季節またその時によっていろいろな表情をもっています。決して平坦ではなく、山あり谷あり、行く手を阻む障害物多し！そんな一つ一つのことを乗り越え、達成感を得る子どもたち。自然の持つ素晴らしさ、厳しさを、理不尽さ、不便さに子どもは育てられます。さあ！子どもと一緒に自然の中へ！



「子どもたちともカンパイ！」
(中央：岩崎氏)

岩崎栄知子氏

幼児教育園青い鳥・青い鳥保育園 園長。北海道キャンプ協会事務局長。

通称いちごちゃん。

老若男女と自然を探検する毎日。昨年の夏に続き、今年の夏も『おにぎりあたためますか？』のキャンプ場での収録で、なぜか大泉洋らの手遊びの先生となる。

指導者養成便り

キャンプインストラクター養成講習会を実施しました！

講習会ディレクター 下川原清貴(はつと)

6月1日(金)から3日(日)の2泊3日で、平成30年度のキャンプインストラクター養成講習会が札幌市青少年山の家を会場に開催されました。今回の講習会は、昨年まで協力団体としてお手伝いしていた札幌市青少年山の家と北海道キャンプ協会が共催で実施したことから、山の家スタッフの全面的な協力を得ることができ、講習会をスムーズに運営することができました。

講習内容は例年どおりキャンプの特性、対象、安全等の座学とキャンプで役に立つ生活技術やさまざまなアクティビティ等の実技を組み合わせて実施しました。講師はいずれも北海道キャンプ協会のキャンプディレクター1級指導者が担当し、それぞれの経験を生かした内容は、参加者の行動意欲を十分に引き出すものとなりました。

参加された16名は、職業も年齢もさまざまでしたが、アイスブレイクが必要ないほど積極的に他の参加者とコミュニケーションを図り、和やかな雰囲気を作ってくれましたし、各カリキュラムにも真摯に取り組み、講習をとおしてインストラクターとしての役割や視点を懸命に学ぼうとする意欲が見られました。

最終日、参加者が一番心配していた試験も無事に全員が合格し、北海道キャンプ協会から認定証をお渡しして講習会は終了しました。ご協力いただいた関係者に改めて感謝を申し上げますとともに、参加された皆さんの今後のご活躍を期待して報告とさせていただきます。参加された皆さん、またお会いしましょうね！



更なるスキルアップを目指して！

キャンプディレクター養成講習会へGO

【キャンプディレクター2級養成講習会】

日程…平成30年10月12日(金)～14日(日) 2泊3日

会場…札幌市青少年山の家(札幌市南区滝野247番地)

内容…キャンプディレクターの役割とキャンプカウンセラーング、プログラムマネジメント、プログラムの安全管理等

受講要件…キャンプインストラクター資格保有者、インストラクター

資格取得後、アウトドア活動参加経験2回以上、1泊以上のキャンプ指導経験1回以上

参加費…25,000円(テキスト代、宿泊費、食事代含む)

※キャンプディレクター2級登録には別途10,000円が必要です。

申込締切…平成30年9月14日(金)

啓発活動・会員交流便り

来る！10月6日(土)

北海道キャンプフェスタ2018開催
参加者・ボランティア絶賛募集中！

【北海道キャンプフェスタ2018】

「あこがれのキャンプ：でもなかなかキャンプに踏み出せない」そんな方におススメの気軽にキャンプの楽しい！面白い！が体験できるイベントを開催します。ご家族やご友人とアウトドアを満喫しましょう！

日時：10月6日(土) 13時から16時

場所：定山溪自然の村 札幌市南区定山溪豊平峡ダム下流国有林野
参加費：無料

問い合わせ：北海道キャンプ協会事務局(左下参照)

(目玉企画)



「いろいろ火おこし」

まい切り式、虫メガネ、メタルマッチなど様々な道具を使って火起こし体験



「グルグル棒巻きパン」

パン生地をグルグル巻いて、炭火でじっくり焼き上げます。おいしー！！



「ランタンの使い方講座」

大人の方必見！1時間程度で、使い方からメンテナンスまで学びます！



「キャンプ運動会」

キャンプ道具を使って、ちょっぴり変わった運動家！一等賞を目指しましょう！

その他楽しい企画がいっぱい！

・すごい薪割り機体験 ・枝とロープでブッシュクラフト などなど

皆さんの参加をお待ちしています！

【ボランティアスタッフ大募集！】

当日、一緒にイベントを運営してくれるボランティアスタッフも募集しています！イベント運営だけでなく、他団体のボランティアスタッフや「えぞっふ」メンバーとの交流も楽しみの一つです！ぜひ一緒に活動しましょう！

参加に関するお問い合わせは、北海道キャンプ協会事務局まで！

気軽に「北海道キャンプフェスタのボランティアをやりたい！」とご連絡をください。



まだまだ続く！キャンプフェスタの楽しみ！

「わたしのキャンプ写真展」

あなたのキャンプにまつわる様々な風景・人物・自然などの写真を大募集！写真はキャンプフェスタ会場で展示します。投票等により、入賞すれば景品もあります！

★応募方法

「写真のタイトル」、「氏名」、「キャンプネーム」、「住所」、「キャンプ協会会員番号」を添えて①②③いずれかの方法でご応募下さい。なお、1人1枚までとさせていただきます。

①北海道キャンプ協会HP

北海道キャンプ協会のHPにデータ送付のリンク先を作成しておりますので、そこからお送り下さい。こちらでプリントアウトさせていただきます。

②現物送付(記録媒体)

データを記録したものの(DVDROM、USBなど)を北海道キャンプ協会事務局へお送りください(送料はご負担願います)。

③現物送付(現像済み写真)

現像済みの写真(サイズ:A4)を北海道キャンプ協会事務局へお送りください。

【あて先】

北海道キャンプ協会事務局(左下参照)

★注意事項

提出いただいた写真は、キャンプフェスタ会場で展示させていただきます。他、北海道キャンプ協会の広報に使用させていただく場合がございます。また、提出された記録媒体(ROM、USB等)および現像物は返却できかねます。ご了承ください。

これは応募するしかない！

写真を撮りに、自然にでかけよう！

えぞっふで活躍しませんか？

北海道キャンプ協会には、次世代若手指導者団体として「えぞっふ」という組織があります。えぞっふでは、さまざまな活動を計画し、北海道におけるキャンプ活動の推進を図っています。若手ならではのエネルギー溢る企画や新たな視点での活動が実施されています！ぜひ皆さんもえぞっふに入り、一緒に活動しませんか？興味のある方は北海道キャンプ協会事務局まで一報下さい！！

【活動実績】北海道キャンプフェスタ、指導者交流会、日本キャンプミーティングでの発表、活動報告会等

【北海道キャンプ協会事務局】

〒047-0155

小樽市望洋台2-14-1望洋ヴィレッジ(特)自然教育促進会内

TEL: 0134(52)3240

FAX: 0134(51)5667

E-MAIL: office@hokkaidocamp.com

URL: <http://www.hokkaidocamp.com/index>

担当: 安原、岩崎

